

市民意識調査と本市女性相談所におけるDV相談状況から導き出された現状と課題

本市では、平成 18 年 11 月に男女の人権など、男女共同参画の推進に関連の深い 7 つの項目について、「男女共同参画に関する意識調査」を実施しました。

また、本市女性相談所では、配偶者からの暴力の相談を行っています。ここでは、市民意識調査から見えてきたニーズや本市における DV 相談の現状から導き出された課題を整理しました。

1 市民意識調査結果からみたDV被害の現状

(1) 調査概要

調査名 『平成 18 年度宇都宮市男女共同参画に関する市民意識調査』

- ①調査対象 ア：旧宇都宮市在住の 20 歳以上の男女 3,000 人
イ：旧上河内町、旧河内町在住の満 20 歳以上の男女 250 人
- ②回収率 ア：48.7%
イ：53.2%
- ③調査期間 ア：平成 19 年 1 月 19 日～2 月 9 日
イ：平成 19 年 4 月 23 日～5 月 18 日

④主な調査項目

- 1 男女平等意識
- 2 家庭生活
- 3 社会参画
- 4 少子高齢社会
- 5 職業・就労
- 6 男女の人権
- 7 男女共同参画社会に関する施策

(2) 調査の結果

- ・本市女性の 1 割以上が配偶者などから DV を受けており (12.7%)、女性の被害は男性に比べ約 1.7 倍となっています。また、DV を受けたことのある女性は「男は仕事、女は家庭」の賛成派が 72.2%と最も多く、DV 被害の背景の 1 つに、固定的な性別役割分担意識が存在することが考えられます。
- ・男女間の暴力を防止するために必要なこととして、「加害者への罰則強化 (44.8%)」と「家庭や学校において暴力防止のための教育を行う (42.3%)」という回答が 4 割を超えています。
- ・暴力を受けたときの相談の有無について、「相談しようとは思わなかった」が 43.7%、「相談したかったが相談しなかった」が 20.9%と、約 6 割の被害者が相談をしていない状況です。また、被害者の相談先は、「親族 (53.8%)」及び「友人・知人 (51.3%)」が多く、「市や県等の窓口・電話相談 (20.5%)」の 2 倍以上になっています。

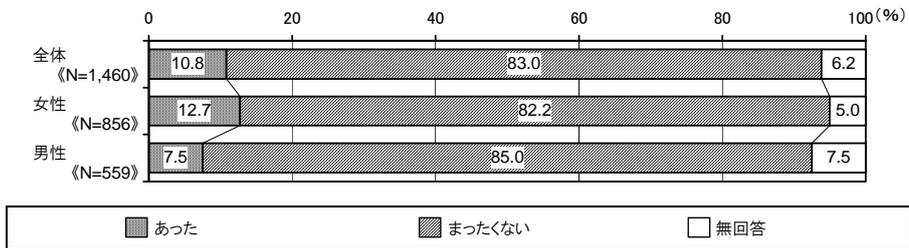
課題

性別役割分担意識が強い女性ほど DV 被害に遭っている状況や、市民ニーズから、家庭や学校においても、男女共同参画意識や人権の尊重、暴力を許さない意識を醸成するための啓発や教育に努める必要があります。

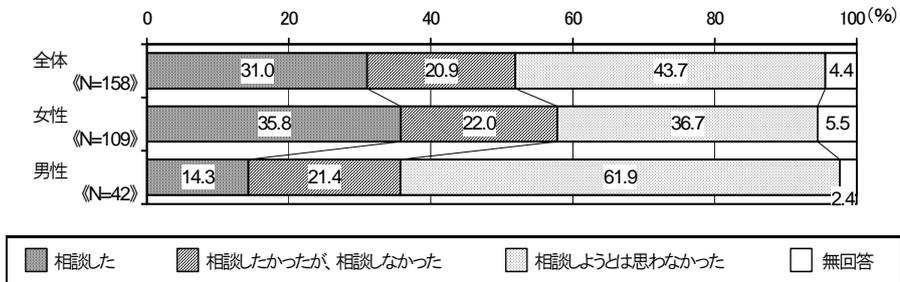
また、多くの被害者が DV 被害について相談をためらっていること、公的機関において相談していないことから、公的機関への相談しやすい環境づくりや、相談窓口について更に周知する必要があります。

さらに、男性の DV 被害者も見られることから、男性被害者に対する DV 相談を検討する必要があります。

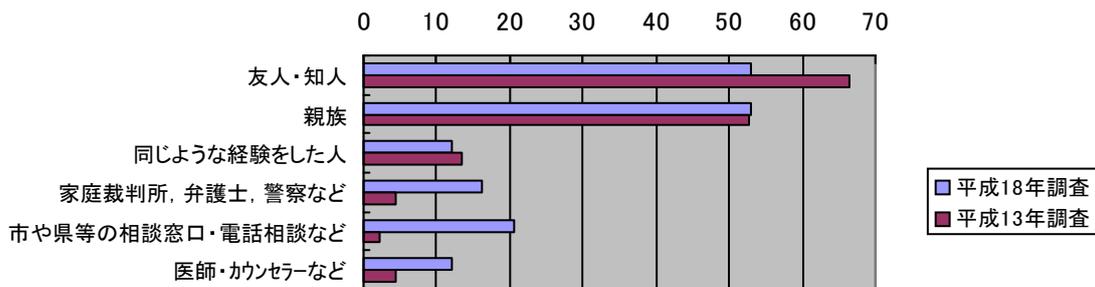
パートナーから過去 2 年間に暴力を受けた経験



被害後の相談状況



暴力を受けた人で相談した人の相談先



(2) 本市女性相談所におけるDV相談状況

- ・市女性相談所における平成19年度の女性相談件数1,922件であり、このうち、DV相談件数は429件と、相談件数の約2割を占めています。また、過去5年間で約3.5倍に急増しています。
- ・女性相談所では、女性カウンセラーによるカウンセリングや女性弁護士による法律相談も行っています。
- ・急増するDV相談に対応するため、また、DV防止法の改正を受け、市では平成20年度に配偶者暴力相談支援センターを設置しました。
- ・市女性相談所におけるDV相談事案では、長年連れ添った配偶者からの暴力を訴える女性高齢者や、知的・身体的な障がい等を持った女性、外国人による相談があることから、福祉部門や国際交流等との連携が求められる事案が生じています。
- ・市ではDV被害者への対応を的確なものにするため、平成15年度より「宇都宮市DV防止庁内連絡調整会議」を開催するとともに、庁外関係機関との連携を図るため、平成18年度より「DV対策関係機関ネットワーク会議」を開催しています。

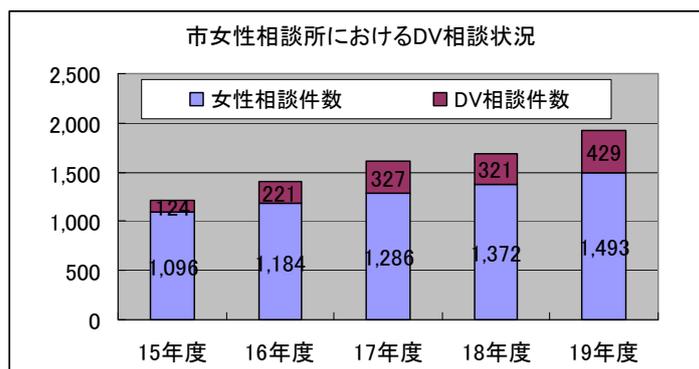
課題

DV相談件数は今後も増加することが予想され、また、相談内容も複雑化、多様化していることから、配偶者暴力相談支援センターの機能を充実する必要があります。

さらに、DV被害者は、高齢である、障がいを持っている、外国人のためにコミュニケーションを上手に取れないなど、幾重にも困難を抱えている場合もあることから、DV被害者の状況に応じて関係機関等と情報の共有化を図るなど、関係機関との更なる連携の強化が求められています。

市女性相談所における相談件数とDV相談件数の推移

項目	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
女性相談件数	1,220件	1,405件	1,613件	1,693件	1,922件
女性相談件数のうちDV相談件数	124件	221件	327件	321件	429件
DV相談の占める割合	10.2%	15.7%	20.3%	19.0%	22.3%



DV対策関係機関ネットワーク会議の構成メンバー

- ・宇都宮地方法務局，栃木県中央・東・南警察署，栃木県婦人相談所，宇都宮市医師会
栃木県弁護士会，（財）とちぎ男女共同参画財団，宇都宮人権擁護委員協議会
宇都宮市民生委員児童委員協議会，認定NPO法人 ウイメンズハウスとちぎ
宇都宮市（生活福祉課・児童福祉課・男女共同参画課）

外国人のDV相談状況

年度	件数	内訳
19年度	8件	ベトナム 2件 中国 4件 タイ 2件
18年度	13件	ウクライナ 2件 フィリピン 4件 台湾 5件 タイ 1件 コロンビア 1件